

校内研究だより

町田市立金井小学校

2018年6月20日

研究推進部

4年生体育「体づくり」の研究授業での提案ありがとうございました。

自評の中に「できたときに、お互いが褒め合い、認め合っていくことが大切。体育の授業の中でも学級経営的な部分で、関わりはもたせるよう授業を組み立てている。」と話がありました。本時の授業の中で子供たちの姿にしっかり表れていたのではないのでしょうか。

グループ協議会でのみなさんの発言より

※太字は、多数の意見です。

子どもの姿	教師の指導	その他・やってみたい
<ul style="list-style-type: none"> ・全員が誰とでも仲良く協力して活動することができた。 ・チームで「一緒にやろう」できたら「やったー」と全身で喜ぶ姿に学級経営のすばらしさを垣間見える。 ・プラスの言葉が多くて明るい雰囲気で授業が進んでいた。 ・友達同士で声をかけ合ってキャッチする姿が多い。 ・運動量豊富でよく動いていた。 ・授業の流れをよく理解していたので、無駄がなく運動量を確保につながっていた。 ・チーム内でお互いアドバイスし合う姿 ・一人一人が声を出し、楽しく自分にチャレンジしている。 ・アドバイスで記録が伸びる。 ・帽子の色分けによってどの子どもに支援が必要か分かりやすくしてある。 ・すぐに誰とでもペアができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テンポ・運動量・技能UP（できた！） ・指示が明確で子供たちも安心して次の活動に動ける。 ・リズム・テンポがよくメリハリのある授業。さすがです・ ・子供が満足できる内容だと思う。 ・「いつでも・どこでも・誰とでも」のねらい通り1時間の全てがこれに基づいて行われていた。 ・前半の筋力を高めるための運動と後半の調整力を高める運動とでバランスよく体力を高める運動であった。 ・子供の言葉からのアドバイスなので、本人も褒められるし、自信もつく。友達もよく聞くようになり良い取り上げ方だった。 ・運動をやりっぱなしにせず、必ず子供に返している「〇〇できるコツは？」と振り返りをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰とでも自然と関わられるようなグルーピング（猛獣狩り）などを使って活動していくのはいいなと思った。 ・タイマーを有効的に使っている。 ・音楽のリズムに乗っての準備体操は、一気に楽しい雰囲気になり、心も体もほぐれます。 ・掲示物・視覚的に分かりやすい。見やすい。 ・場の設定が上手くできている。子供も動きやすい。 ・仲間で達成できるのでチームワーク力が上がる。 ・「ナイス！」の合言葉が学級全体を明るくしてる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボールと硬いボールの選択は、グループがしているのか。 ・褒返しは、体にふれるので4年生女子は、そろそろ気にするのは？→触れるところを限定している。2,3学期には、だんだんと触れる場所を変えながら別の力試しの運動に【つなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・可能ならボールの色、各場に2色はあるとグループキャッチなどで分かりやすい。 ・「ゴーゴーキャッチ」で先生が「スナップしてとる」などくふうを伝えていたが、子供にとって魅力なのは、遠くに飛ばすこと。その意図は？→ 	<ul style="list-style-type: none"> ・一つのコーナーだけソフトボールを使っていたのはなぜ？→落下速度の違い、ソフトバレーにつなげられる等。

講師 矢口 英明先生より（明星大学）

○協議会について

- ・良いところだけでは、研究にならない。質問・課題・改善の視点を大切にすること。
- ・授業を期に高・低で取り組んでいることの情報交換の場になるような協議会にするとよい。
- ・自評は、自己評価の場であるので提案やねらいに対してどうだったか振り返ることが言えると深まる。～が良かった。～もう少しだった。など
- ・サブテーマに対する協議も一人一人考えていくことは、研究の深まりにつながる（**効果の検証**）

○授業について

- ・運動量→十分な運動量を確保することが出来た。水分補給、健康も大切にして確保する。
- ・BGMの活用→子どもたちの動きにあった者を選択していた。
- ・準備運動→心拍数を上げる。整理運動：落ち着けるように。
- ・テンポのよさ→次何をするか、児童がわくわくするようなテンポの良さが見られた。
- ・ねらいの明確→子どもたちに身につけさせたい力が明確になっていた。子供たちの学び合い。
- ・意欲付け タイマー→みんなが見えることで、児童が自ら動ける工夫。
- ・共生(学校全体)→学校教育目標の実現
- ・用具(明確的な教師の意図)→どれが正しいわけではなく、教師の意図があればよい。
- ・系統性→低・中・高から中学校へ繋がっていくもの。ぜひ検討して行って欲しい。

○子どもの姿

- ・「パンパンナイス！」のかけ声は、見付けた人、発表された人、自分に「ナイス」を言うことで、「他者理解・自己実現」に自然に子どもたちか芽生える良いきっかけになっている。
- ・俵返し→男女の性差が出始めるところである。ふれあうことが大切
- ・場の設定、掲示物があることで、子どもたちが楽しく活動できていた。
- ・子どもたちの一生懸命さ（ひたむきさ）が表れていた。

○教師の姿（指導・参観者）

- ・教科の特性をしっかりと指導者がもつことが大切である。
- ・子供と一緒に学ぶ教師の姿が素晴らしかった。教師のしかけがたくさんある授業。
- ・この運動を通して、こういう子どもを育てたい・こういう喜びを感じさせたいと意図をしっかりとっていた。
- ・授業観察の視点→研究協議会の焦点化

①掲示物の充実

②グループの人数の工夫

③準備運動

④楽しみながら身に付ける工夫

- ・本時の中で対話的な学びを通して子供たちがどう変化したのかを検証できるように、赤グループには○先生など明確にすると良い。